

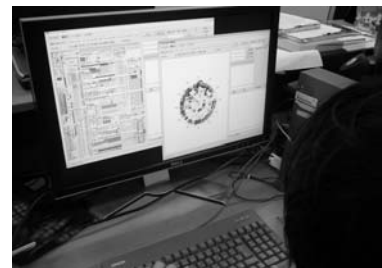
## データベース・情報統合・情報空間統治技術に関する研究開発

### コミュニティ情報空間ガバナンス実現のためのソフトウェア InfoSpace Governorの開発

大量のデータ管理の問題に対して「情報空間にコントロールを導入する」という視点からアプローチし、データベース技術によって支援を行う「情報空間ガバナンスプロジェクト」を推進しています。情報空間ガバナンスとは、情報空間内での人や情報の間の関係を把握し、その状態と流通を制御する事であり、本プロジェクトでは、特にそれを実現するためのソフトウェア技術を研究しています。知的活動を行うコミュニティにおける情報空間を「チーム脳」と例えるならば、情報伝達のためのシナプスが切れていたり、活性化されていない部分があったり、間違った情報が伝達されているようでは、このチーム脳の能力を



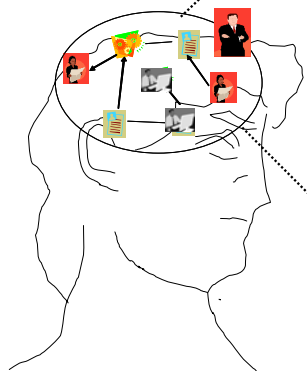
InfoSpace Governorが対象とする情報空間



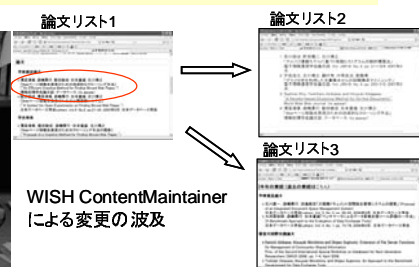
情報空間の視覚化ツールInfoSpace Maps

### Web情報空間ガバナンスの実現のためのソフトウェア WISH Toolsの開発

存分に発揮することができません。したがって、情報の流通と状態をきちんとコントロールすることが、チームの知的生産性の向上には不可欠です。現在は、特に研究室などの知的活動コミュニティで扱われるファイルやメール、Webコンテンツを対象に、研究を進めています



Webページ移動先自動発見システム  
WISH PageChaser



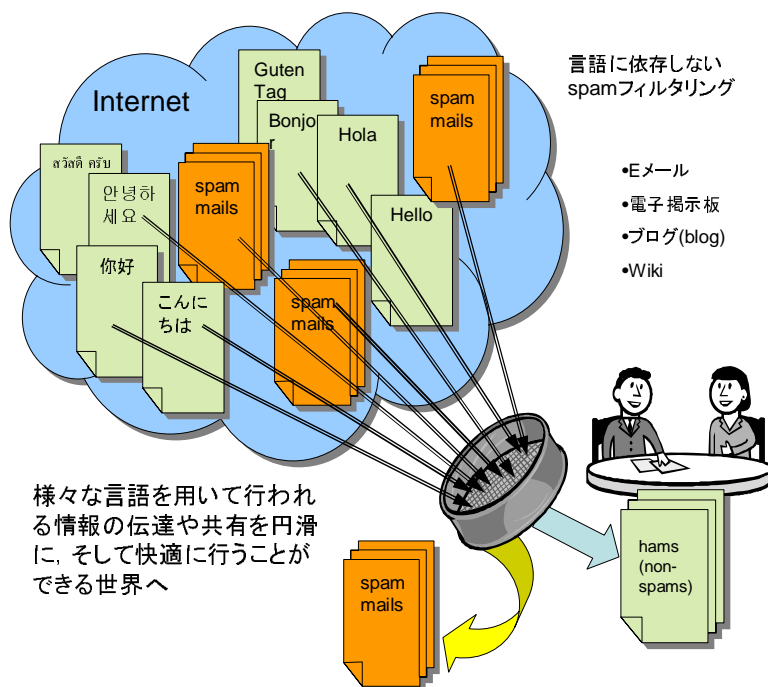
分散管理されたWebコンテンツの一貫性維持システムWISH ContentMaintainer

## ネットワーク・システム技術に関する研究開発

近年、インターネットの電子メールでは受信者が求めているメッセージを多量に送りつける、いわゆるspam(迷惑メール)の増加が社会的にも問題となっています。多量のspamによって、人々やコミュニティの情報の伝達や共有が阻害されるので、様々な対策が進められつつあります。

その主な対策として、メッセージの特徴を学習し、自動的にspamとそれ以外のメール(ham)を選別するspamフィルタリングがあります。現在多く用いられているspamフィルタリングでは英語など特定の言語を対象としているので、未対応の言語で書かれたメッセージにおけるspamの選別精度に問題が残っています。

本研究では、どのような言語で書かれたメッセージでも適切に選別を可能にすることを目的として、言語に依存しないspamフィルタリングの手法の開発を進めています。また、spamは電子メールのみならず様々な電子掲示板やブログ(blog)、Wikiなどでも問題となっているため、それらについても開発手法の適用を進めていきます。様々な言語のメッセージをspamとhamに適切に分類することによって、人々やコミュニティにおける情報の伝達と共有を円滑に、かつ快適に行うことができる世界にすることを目指しています。



## 国際・国内連携活動

本部門では、知的コミュニティ基盤研究センターの目的にしたがい、図書館の組織との直接的な協調に基づく研究開発を積極的に進めています。国内では、メタデータの蓄積と利用のための技術などに関して、岡山県立図書館との協調的活動を進めており、海外では、Dublin Core Metadata Initiativeとの協力でメタデータスキーマレジストリの開発と提供サービスを行っています。

今後もこれまでの研究活動をより活発に進めていくとともに、外部の組織との協調的な活動をより活発に進めていきたいと考えています。特にメタデータやデジタルアーカイブなど、これまでの活動経験を生かし、情報拠点となるよう研究活動を進めていきたいと考えています。